

平成27年度 行政評価の取組結果（建設局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）				H27年度		H26年度	人件費（目安）			H27年度				H29年度予算要求に向けた施策の方向性	
					指標名等	現状値（基準値）	H26年度	H27年度	中期目標	予算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	金額（千円）	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策評価		局施策評価の理由および課題
I-1-(1)-⑥ 地域などと行政の連携・協働による子育て支援の推進	1	地域に役立つ公園づくり事業	みどり・公園整備課	身近な公園の再整備について、小学校区単位で開催するワークショップで地域住民の意見を聞き、地域ニーズを反映した公園整備を行うことで、これまで以上に利用される公園を目指す。計画段階から地域住民が参加することで公園への愛着を高め、地域活動など公園利用の活性化につなげる。計画策定後は、翌年から概ね2カ年で再整備を行う。	地域に役立つ公園づくり事業による整備公園数	目標	24 公園	20 公園	—	175,000	147,148	162,235	6,825	課長	0.05 人	順調	ワークショップ開催、計画に基づく公園整備工事ともに、概ね計画どおり進んでいる。	順調	【評価理由】 地域と行政が連携して魅力ある公園づくりを進めるため、整備前にワークショップを行うなど、地域ニーズ等を反映する取組みを実施している。計画策定及びその後の整備ともに概ね予定どおり実施しており「順調」と判断。	今後継続して、地域と行政が連携した魅力ある公園づくりに取り組む。
	実績	24 公園	19 公園	—	36,000	58,588	17,042	3,075	係長	0.10 人	順調	計画通りの公園数を整備できた。	【課題】 地域と行政が連携した魅力ある公園づくりを更に進める必要がある。							
達成率	100.0 %	95.0 %	—	—	—	—	—	職員	0.70 人	職員				0.20 人						
2	子どもの安全・成長に配慮した公園整備事業	緑政課	遊具などの公園施設を活用して、子どもが健やかに成長し、また、犯罪等に巻き込まれ、ない安全・安心に配慮した公園となるよう、専門家の意見を聞きながら、公園整備を進める。	子どもの安全・成長に配慮した公園整備事業による整備公園数	目標	0 公園	3 公園	—	36,000	58,588	17,042	3,075	課長	0.05 人	順調	計画通りの公園数を整備できた。	【課題】 地域と行政が連携した魅力ある公園づくりを更に進める必要がある。	今後継続して、地域と行政が連携した魅力ある公園づくりに取り組む。		
実績	0 公園	3 公園	—	—	—	—	—	係長	0.10 人	順調	計画通りの公園数を整備できた。	【課題】 地域と行政が連携した魅力ある公園づくりを更に進める必要がある。								
達成率	— %	100.0 %	—	—	—	—	—	職員	0.20 人				職員	0.20 人						
I-3-(1)-② 教育関係施設の連携による人材の育成	3	【施策評価のみ】 到津の森公園による学習プログラムの提供	公園管理課	【施策の内容】 小学生を対象とした、動物や自然とのふれあいを通じて命の大切さや自然環境の保護の必要性を学ぶプログラムの提供	【施策の指標】 「市民環境力」を高め、環境保全に対する意識が高まった状態	目標	—	—	「市民環境力」を高め、環境保全に対する意識が高まった状態	—	—	—	—	課長	— 人	—	—	順調	【評価理由】 遠足で到津の森公園を訪れる小学校に対して、学習プログラムの提供を続けている。環境保全意識向上のための機会が提供できており「順調」と判断。	今後継続して、小学校へ学習プログラムを提供する。
						実績	—	—						職員	— 人					
						達成率	—	—						職員	— 人					
II-1-(4)-④ 総合的な災害対策の推進	4	河川改修事業の推進	水環境課	近年、ゲリラ豪雨や都市化の進展に起因する浸水被害が増加している。浸水被害を抑制するため、治水事業の根幹となる河川改修を推進する。	浸水被害の低減	目標	—	—	H45年度に河川毎に計画している降雨（1時間で50～70mm程度）に対応できる状態	1,759,350	2,133,727	2,466,532	86,500	課長	1.00 人	順調	河川改修は予定どおり進捗（河川整備率：目標83%→実績83%）しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 頻発する局地的豪雨などによる浸水被害を抑制するため、計画的に河川の整備を行っている。事業は概ね予定どおり進捗しているため「順調」と判断。	今後継続して、治水事業の根幹となる河川整備を推進する。
						実績	—	—						係長	1.50 人					
達成率	—	—	職員	8.00 人																
5	旦過地区まちづくりに伴う河川整備事業	神嶽川旦過地区整備室	長年市民に親しまれている旦過市場をさらに魅力ある商業拠点とするために、地元と協働で旦過地区まちづくり整備計画を策定し、神嶽川の治水安全度を高める、河川事業を推進する。	神嶽川（旦過地区）の治水安全度向上	目標	—	—	概ね50年に一度発生する降雨にも対応できるよう、神嶽川（旦過地区）の治水安全度向上	402,000	213,000	20,682	18,250	課長	0.50 人	順調	「整備計画（素案）検討委員会」を設立し整備計画を策定。また神嶽川の護岸工事にも着手し、左岸側（馬借側）83mの改修が完了したため「順調」と判断。	順調	【課題】 計画的に河川整備を進める必要がある。	今後継続して、治水事業の根幹となる河川整備を推進する。	
					実績	—	—						係長	0.50 人						
					達成率	—	—						職員	1.00 人						

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					H27年度		H26年度		人件費（目安）			H27年度				H29年度予算要求に向けた施策の方向性
					指標名等	現状値（基準値）	H26年度	H27年度	中期目標	予算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	金額（千円）	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策評価	局施策評価の理由および課題		
II-2-(3)-④ 個人の健康づくりを支える環境の整備	6	健康づくりを支援する公園等整備事業	緑政課	公園に高齢者の健康増進に配慮した健康遊具を設置し、運動教室を開催して、利用者に使い方を説明する。継続的にこの健康遊具を利用することにより、高齢者の体力増進に繋げる。また、ウォーキングを通じた健康づくりをサポートする路面表示などを実施する。	高齢者に配慮した健康遊具の設置公園数	—	目標 2 公園	1 公園	20公園（平成29年度）	16,000	17,086	134,933	3,650	課長 0.10 人	順調	計画通りの公園数を整備できた。	順調	【評価理由】 市民の健康づくりの機運を高めるため、身近な公園における健康遊具の設置などの環境整備が進んでおり「順調」と判断。 【課題】 高齢者の健康づくりを推進するために、更なる環境整備に取り組む必要がある。	今後も継続して、健康づくりを推進する環境整備に取り組む。		
実績 10 公園	1 公園	達成率 500.0 %	100.0 %	係長 0.10 人	職員 0.20 人																
目標 225 団体	211 団体	220団体（H30年度）	17,810	16,858	17,478	9,400	課長 0.05 人	順調	道路サポーター制度の推進にあたっては、制度の改善に活動団体の意見を反映しつつ、継続した支援やPR活動を実施しており、加入団体数は順調に増加している。	順調	【評価理由】 高齢化などの理由により解散する団体がある中で、新たに結成した団体もあり、総団体数も維持していることから「順調」と判断。 【課題】 解散する団体があるなか、総団体数の維持・増加に向けた取組みが求められる。	今後も継続して、団体数の増加に努める。									
実績 210 団体	215 団体	達成率 93.3 %	101.9 %	係長 0.17 人	職員 0.95 人																
目標 1,160 団体	1,160 団体	1,160団体（毎年度）	45,428	43,706	43,306	18,135	課長 0.24 人						順調	会員の減少、高齢化により解散する団体も多い中、目標を達成しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 高齢化などの理由により解散する団体があるなか、総団体数の維持・増加に向けた取組みが求められる。	今後も継続して、団体数の増加に努める。				
実績 1,167 団体	1,169 団体	達成率 100.6 %	100.8 %	係長 0.45 人	職員 1.45 人																
目標 68 団体	69 団体	72団体（H30年度）	2,420	2,406	2,375	440	課長 0.01 人	順調	活動団体における高齢化や後継者不足等により、活動の継続が困難な状況が続いているものの、今年度は新規結成（2団体）が解散（1団体）を上回り、概ね目標を達成できたため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 高齢化などの理由により解散する団体があるなか、総団体数の維持・増加に向けた取組みが求められる。	今後も継続して、団体数の増加に努める。									
実績 67 団体	68 団体	達成率 98.5 %	98.6 %	係長 0.01 人	職員 0.03 人																
目標 68 団体	69 団体	72団体（H30年度）	2,420	2,406	2,375	440	課長 0.01 人						順調	活動団体における高齢化や後継者不足等により、活動の継続が困難な状況が続いているものの、今年度は新規結成（2団体）が解散（1団体）を上回り、概ね目標を達成できたため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 高齢化などの理由により解散する団体があるなか、総団体数の維持・増加に向けた取組みが求められる。	今後も継続して、団体数の増加に努める。				
実績 67 団体	68 団体	達成率 98.5 %	98.6 %	係長 0.01 人	職員 0.03 人																

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					H27年度		H26年度		人件費（目安）			H27年度				H29年度予算要求に向けた施策の方向性
					指標名等	現状値（基準値）	H26年度	H27年度	中期目標	予算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	金額（千円）	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策評価	局施策評価の理由および課題		
Ⅲ-1-(2)-① 魅力ある生活空間づくり	10	「花やみどり」による彩りと潤いのあるまちづくり	緑政課	都市景観の向上と潤いのある街づくりを目指し、花壇（公共花壇）の整備を行うと共に、市民花壇やスポンサー花壇、うえるっちゃ！花壇といった、市民ボランティアや企業・団体と一体となって美しく快適なまちづくりを推進する。さらに特別緑地保全地区制度や保存樹制度を活用し、都市に残された貴重な緑の保全に努めていく。	市民花壇活動団体数	574団体（H26年度）	目標 — 団体 583 団体 実績 574 団体 570 団体 達成率 — % 97.8 %	628団体（H32年度）	100,023	154,598	58,491	23,150	課長 0.10 人 係長 0.70 人 職員 2.00 人	順調	高齢化などの理由で解散する団体が増加し、市民花壇活動団体数は全体として減少した。特別緑地保全地区については、買収予定地の一部が交渉難航により契約が完了しなかったものの概ね目標を達成しており、加えてH26年度未買収地についても既に用地買収が完了している。そのため、評価は「順調」と判断。	順調	【評価理由】 魅力ある生活空間をつくるために、街角の花壇整備や地域ニーズを反映した公園づくりを進めた。市民花壇活動団体数は減少したものの、市民ボランティア等との協働は着実に進んでおり、また、地域ニーズ等を公園整備に反映するための計画策定及びその後の整備ともに概ね予定どおり進捗しており「順調」と判断。 【課題】 魅力ある生活空間づくりをさらに進める必要がある。	今後も継続して、街角の花壇整備や地域ニーズを反映した公園づくりなど魅力ある生活空間づくりに取り組む。			
	11	地域に役立つ公園づくり事業	みどり・公園整備課	身近な公園の再整備について、小学校区単位で開催するワークショップで地域住民の意見を聞き、地域ニーズを反映した公園整備を行うことで、これまで以上に利用される公園を目指す。計画段階から地域住民が参加することで公園への愛着を高め、地域活動など公園利用の活性化につなげる。計画策定後は、翌年から概ね2カ年で再整備を行う。	地域に役立つ公園づくり事業による整備公園数	—	目標 24 公園 20 公園 実績 24 公園 19 公園 達成率 100.0 % 95.0 %	—	175,000	147,148	162,235	6,825	課長 0.05 人 係長 0.10 人 職員 0.70 人	順調	ワークショップ開催、計画に基づく公園整備工事ともに、概ね計画どおり進んでいる。	順調					
Ⅲ-1-(2)-③ 市民に親しまれる水際線・農山村風景づくり	12	身近に自然を感じる河川整備事業	水環境課	都市内に唯一残された貴重な自然空間である河川を、水際の植生や自然な流れの復元などにより、生物の生息・生育環境に配慮した整備を行うことにより、ホタルの飛翔や緑の増加など、身近に自然を感じる水辺環境整備事業を行っている。	環境に配慮した護岸整備	—	目標 — — 実績 — — 達成率 — —	生態系に配慮した整備を行うことで、自然を感じる状態	138,000	540,300	724,800	25,750	課長 0.50 人 係長 0.50 人 職員 2.00 人	順調	環境に配慮した護岸整備は予定どおり進捗（護岸整備延長：目標34,900m→実績35,300m）しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 市民に親しまれる水際線づくりを進めるため、環境に配慮した護岸整備を着実に実施しており「順調」と判断。 【課題】 治水面と環境面のバランスを取る必要がある。	今後も限られた敷地の中で、最大限生態系に配慮した整備を行う。			

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					H27年度		H26年度		人件費（目安）		H27年度				H29年度予算要求に向けた施策の方向性
					指標名等	現状値（基準値）	H26年度	H27年度	中期目標	予算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	金額（千円）	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策評価	局施策評価の理由および課題	
Ⅲ-1-(3)-② 安心して通行できる身近な道路の整備	13	バリアフリーのまちづくり	道路計画課	高齢者や障害者など、誰もが安全で快適に通行できるように、道路・公園のバリアフリー化を行い、バリアフリーのまちづくりを進める。具体的には、歩道の新設や拡幅、段差解消、視覚障害者誘導用ブロックの設置などのバリアフリー化を行う。	主要駅周辺地区の主要経路の整備率	目標	89 %	90 %	95% (H30年度)	951,600	926,640	1,007,204	26,150	課長	0.10 人	順調	関係団体と協議を行いながら、計画的に整備を行っており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 関係団体と協議を行いながらのバリアフリー化や、通学路の改善要望に対応するなど、子どもから高齢者まで誰もが安心して通行できる環境整備が進んでおり「順調」と判断。 【課題】 バリアフリーのハード整備とあわせて、今後はバリアフリー化の取り組みの周知など、ソフト面の施策の充実を図ることが重要。	本市における高齢化率は、全国平均を大きく上回るとともに、他の政令指定都市の中で最も高く、高齢化が急速に進展している。このような状況のもとバリアフリー化の推進は必要不可欠であり、着実に取り組みを継続する。 また、児童の安全・安心な通学路環境の整備は、交通安全事業において最も重要な施策であり、引き続き、対策に取り組んでいく。
	14	通学路の安全対策	道路計画課	登下校中の児童が交通事故に巻き込まれず、安全に安心して通学できる環境を整えるため、教育委員会や学校関係者、警察と一体となって、さらなる通学路の安全対策を推進する。	通学路の危険箇所における対策完了箇所数	目標	—	—	—	805,000	521,304	503,084	26,150	課長	0.10 人					
Ⅴ-1-(2)-① 都心のにぎわいづくり	15	小倉駅・黒崎駅前の賑わいづくりの推進	道路計画課	北九州市の玄関口となる小倉都心部と黒崎副都心部の駅前において、魅力的な都市環境の創造につながる道路環境整備を行い、まちの賑わいを推進する。	歩いてみたくなる歩行空間を創出	目標	—	—	歩いてみたくなる歩行空間の創出	1,681,791	1,863,216	1,276,378	61,500	課長	1.00 人	順調	小倉駅南北自由通路のリニューアルは予定どおり進捗（目標54%→実績58%）しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 都心のにぎわいづくりのために、小倉駅南北自由通路のリニューアル及び旦過地区まちづくりに伴う河川整備が着実に進捗しており「順調」と判断。 【課題】 都心のにぎわい創出に向け、継続した取り組みが必要。	引き続き、計画的な事業実施に努める。
	16	旦過地区まちづくりに伴う河川整備事業	神嶽川旦過地区整備室	長年市民に親しまれている旦過市場をさらに魅力ある商業拠点とするために、地元と協働で旦過地区まちづくり整備計画を策定し、神嶽川の治水安全度を高める、河川事業を推進する。	神嶽川（旦過地区）の治水安全度向上	目標	—	—	概ね50年に一度発生する降雨にも対応できるよう、神嶽川（旦過地区）の治水安全度向上	402,000	213,000	20,682	18,250	課長	0.50 人					

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					H27年度		H26年度		人件費（目安）		H27年度				H29年度予算要求に向けた施策の方向性		
					指標名等	現状値（基準値）	H26年度	H27年度	中期目標	予算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	金額（千円）	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策評価	局施策評価の理由および課題			
V-1-(2)-② 文化・交流・居住機能を重視した副都心づくり	17	小倉駅・黒崎駅前の賑わいづくりの推進	道路計画課	北九州市の玄関口となる小倉都心部と黒崎副都心部の駅前において、魅力的な都市環境の創造につながる道路環境整備を行い、まちの賑わいを推進する。	黒崎駅南北自由通路利用者数	現状値	4,500人/日 (H24年度)	目標	-	-	6,500人/日 (H30年度)	1,681,791	1,863,216	1,276,378	61,500	課長	1.00人	順調	黒崎駅南北自由通路、黒崎ペデストリアンデッキの整備は予定どおり進捗（目標54%→実績56%）しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】副都心のにぎわいづくりのために、黒崎駅南北自由通路及び黒崎ペデストリアンデッキを整備した。事業は予定どおり進捗しており「順調」と判断。 【課題】引き続き、副都心のにぎわい創出に向けた取組みが必要。	引き続き、計画的な事業実施に努める。
						実績	-	-	-	-	-	-	係長	2.00人								
						達成率	-	-	-	-	-	職員	4.00人									
V-2-(2)-① 広域物流ネットワークの強化	18	自動車専用道路ネットワークの整備	道路計画課	港湾・空港・鉄道ターミナルなど、拠点間を結ぶ交通・物流ネットワークの構築や地域間の連携・交流促進を図るため、環状放射型自動車専用道路ネットワークの整備を推進する。	朝ピーク時の響灘地区～東田地区間の所要時間	現状値	43分 (H21年度)	目標	-	-	13分 (H39年度)	1,550,000	1,806,331	1,915,708	69,000	課長	1.00人	順調	戸畑枝光線の事業は予定どおり進捗（目標16%→実績18%）しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】広域物流ネットワークの強化に向けた交通網の整備を実施した。戸畑枝光線をはじめ、主要な道路の事業進捗は計画通り行われており「順調」と判断。 【課題】最終目標達成に向けて、引き続き、道路整備を進める必要がある。	今後も計画的に主要な道路整備を進める。
						実績	-	-	-	-	-	-	係長	2.00人								
						達成率	-	-	-	-	-	職員	5.00人									
	19	主要な道路の整備（恒見朽網線など）	道路計画課	主要な街路・道路事業を重点的かつ速やかに整備することで、市内の渋滞対策、物流ネットワークの強化、地域間の連携・交流促進を図る。	新門司地区～北九州空港間の所要時間	現状値	36分 (H21年度)	目標	-	-	28分 (H37年度)	4,154,749	5,928,996	8,711,899	217,250	課長	3.00人	順調	主要な道路の事業は予定どおり進捗しており「順調」と判断。	順調	最終目標達成に向けて、引き続き、道路整備を進める必要がある。	
						実績	-	-	-	-	-	-	係長	6.50人								
						達成率	-	-	-	-	-	職員	15.70人									
V-2-(2)-② 市民の交通利便性の向上と産業活動の支援	20	自動車専用道路ネットワークの整備	道路計画課	港湾・空港・鉄道ターミナルなど、拠点間を結ぶ交通・物流ネットワークの構築や地域間の連携・交流促進を図るため、環状放射型自動車専用道路ネットワークの整備を推進する。	朝ピーク時の響灘地区～東田地区間の所要時間	現状値	43分 (H21年度)	目標	-	-	13分 (H39年度)	1,550,000	1,806,331	1,915,708	69,000	課長	1.00人	順調	戸畑枝光線の事業は予定どおり進捗（目標16%→実績18%）しており「順調」と判断。	順調	広域物流ネットワークの強化に向けた交通網の整備を実施した。戸畑枝光線をはじめ、主要な道路の事業進捗は計画通り行われており「順調」と判断。 【課題】最終目標達成に向けて、引き続き、道路整備を進める必要がある。	今後も計画的に主要な道路整備を進める。
						実績	-	-	-	-	-	-	係長	2.00人								
						達成率	-	-	-	-	-	職員	5.00人									
	21	主要な道路の整備（恒見朽網線など）	道路計画課	主要な街路・道路事業を重点的かつ速やかに整備することで、市内の渋滞対策、物流ネットワークの強化、地域間の連携・交流促進を図る。	新門司地区～北九州空港間の所要時間	現状値	36分 (H21年度)	目標	-	-	28分 (H37年度)	4,154,749	5,928,996	8,711,899	217,250	課長	3.00人	順調	主要な道路の事業は予定どおり進捗しており「順調」と判断。	順調	最終目標達成に向けて、引き続き、道路整備を進める必要がある。	
						実績	-	-	-	-	-	-	係長	6.50人								
						達成率	-	-	-	-	-	職員	15.70人									

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					H27年度		H26年度		人件費（目安）		H27年度				H29年度予算要求に向けた施策の方向性
					指標名等	現状値（基準値）	H26年度	H27年度	中期目標	予算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	金額（千円）	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策評価	局施策評価の理由および課題	
V-3-(1)-② 都市基盤・施設の適正な維持管理	22	都市モノレール長寿命化事業（道路・街路）	道路維持課	北九州モノレールは、昭和60年に開業後、約30年が経過しており、軌道桁やそれを支える支柱等について、経年的な劣化が見られる。このため、劣化対策（耐震対策も含む）を行い、桁や支柱等、構造物の長寿命化や維持管理費の縮減を図り、市民の重要な交通機関であるモノレールの安全性・信頼性の確保を図る。	インフラ構造物の長寿命化を実施することで、モノレールの安全・安心な運行を確保	目標	—	—	完了（H33年度）	900,810	1,028,103	1,021,742	57,375	課長	0.75	順調	モノレールの軌道桁や支柱の耐震対策、劣化対策を概ね予定どおりに実施しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 モノレール、橋梁、トンネルといった都市基盤の長寿命化対策は、概ね計画どおり進捗しており「順調」と判断。 【課題】 引き続き、計画に沿って長寿命化対策を実施する必要がある。	引き続き、計画に沿って長寿命化対策を実施する。
						実績	—	—						係長	1.50					
						達成率	—	—						職員	4.50					
	23	橋梁・トンネルの長寿命化への計画的な取り組み	道路維持課	市内には、約2,000の橋梁と42本のトンネルがあり、高齢化・老朽化の進展が懸念されている。そこで、従来の対症療法型補修を改め、予防保全型に移行するため、「北九州市橋梁長寿命化修繕計画」（H22.3）及び「北九州市トンネル長寿命化修繕計画」（H25.2）を策定した。本事業は、この計画をもとに、予防保全が有効な状態である健全度Ⅲ以上の橋梁とトンネルを増加させることで市民の安全・安心を確保する。	主要橋梁の健全度向上による市民の安全・安心の確保	目標	—	—	全主要橋梁の健全度Ⅲ以上（H31年度）	2,014,860	2,636,094	2,326,551	100,150	課長	1.10	順調	橋梁・トンネルのリニューアル工事を概ね予定どおりに実施しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 モノレール、橋梁、トンネルといった都市基盤の長寿命化対策は、概ね計画どおり進捗しており「順調」と判断。 【課題】 引き続き、計画に沿って長寿命化対策を実施する必要がある。	引き続き、計画に沿って長寿命化対策を実施する。
実績						—	—	係長						2.00						
達成率						—	—	職員						9.00						
トンネルの健全度向上による市民の安全・安心の確保				目標	—	—	全トンネルの健全度Ⅲ以上（H33年度）	2,014,860	2,636,094	2,326,551	100,150	係長	2.00	順調	橋梁・トンネルのリニューアル工事を概ね予定どおりに実施しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 モノレール、橋梁、トンネルといった都市基盤の長寿命化対策は、概ね計画どおり進捗しており「順調」と判断。 【課題】 引き続き、計画に沿って長寿命化対策を実施する必要がある。	引き続き、計画に沿って長寿命化対策を実施する。		
				実績	—	—													職員	9.00
				達成率	—	—														

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					H27年度		H26年度		人件費（目安）			H27年度				H29年度予算要求に向けた施策の方向性
					指標名等	現状値（基準値）	H26年度	H27年度	中期目標	予算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	金額（千円）	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策評価	局施策評価の理由および課題		
VI-1-(2)-② あらゆる主体による環境政策への参加の推進	24	長野緑地を利用した農業体験教室	公園管理課	計画地内に複数の活動エリアを設け、一年を通してそれぞれのエリアで有機農業栽培管理や花作りを体験する市民参加による農地等の整備、管理等に取り組む。また、子どもたちが自然の中で遊び、学ぶ場を提供したり、収穫物を使用したイベントなど、市民の参加を拡大するイベント等を開催する。	農業体験教室への参加者数	—	目標 2,000 人	2,000 人	2,000人（毎年度）	2,600	2,674	2,674	1,120	課長 0.03 人	順調	悪天候による中止もあったが、目標人数を達成することができたため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 農業体験を通じた環境政策への市民参加を進めている。今年度も多くの市民参加があり「順調」と判断。 【課題】 今後も継続した取組みが求められる。	今後も継続して、農業体験教室を実施する。		
実績	2,447 人	2,328 人	2,000人（毎年度）	2,600	2,674	2,674	1,120	係長 0.04 人													
達成率	122.4 %	116.4 %	2,000人（毎年度）	2,600	2,674	2,674	1,120	職員 0.05 人													
VI-2-(1)-③ 総合的な緑化・森林整備の実施	25	「花やみどり」による彩りと潤いのあるまちづくり	緑政課	都市景観の向上と潤いのある街づくりを目指し、花壇（公共花壇）の整備を行うと共に、市民花壇やスポンサー花壇、うえるっちゃ！花壇といった、市民ボランティアや企業・団体と一体となって美しく快適なまちづくりを推進する。さらに特別緑地保全地区制度や保存樹制度を活用し、都市に残された貴重な緑の保全に努めていく。	市民花壇活動団体数	574団体（H26年度）	目標 — 団体	583 団体	628団体（H32年度）	100,023	154,598	58,491	23,150	課長 0.10 人	順調	高齢化などの理由で解散する団体が増加し、市民花壇活動団体数は全体として減少した。特別緑地保全地区については、買収予定地の一部が交渉難航により契約が完了しなかったものの概ね目標を達成しており、加えてH26年度未買収地についても既に用地買収が完了している。そのため、評価は「順調」と判断。	順調	【評価理由】 市民花壇活動団体数は減少したものの、市民ボランティア等との協働は着実に進んでいる。また、H27年度買収予定地の一部が契約に至らなかったものの、H26年度の未買収地については既に契約が完了している。そのため評価は「順調」と判断。 【課題】 今後も継続して総合的な緑化の取組みが求められる。	今後も継続して、街角の花壇整備など総合的な緑化を進める。		
実績	574 団体	570 団体	628団体（H32年度）	100,023	154,598	58,491	23,150	係長 0.70 人													
達成率	— %	97.8 %	628団体（H32年度）	100,023	154,598	58,491	23,150	職員 2.00 人													
特別緑地保全地区の買収面積	—	目標 5,000 m ²	17,092 m ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	課長 0.50 人	順調	環境に配慮した護岸整備は予定どおり進捗（護岸整備延長：目標34,900m→実績35,300m）しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 市民に親しまれる水際線づくりを進めるため、環境に配慮した護岸整備を着実に実施しており「順調」と判断。 【課題】 治水面と環境面のバランスを取る必要がある。	今後も限られた敷地の中で、最大限生態系に配慮した整備を行う。		
実績	0 m ²	14,510 m ²	—	—	—	—	—	係長 0.50 人													
達成率	0.0 %	84.9 %	—	—	—	—	—	職員 2.00 人													
VI-4-(1)-② 身近に自然を感じる都市づくり	26	身近に自然を感じる河川整備事業	水環境課	都市内に唯一残された貴重な自然空間である河川を、水際の植生や自然な流れの復元などにより、生物の生息・生育環境に配慮した整備を行うことにより、ホタルの飛翔や緑の増加など、身近に自然を感じる水辺環境整備事業を行っている。	環境に配慮した護岸整備	—	目標 —	—	生態系に配慮した整備を行うことと自身感状態を自然に近づける	138,000	540,300	724,800	25,750	課長 0.50 人	順調	環境に配慮した護岸整備は予定どおり進捗（護岸整備延長：目標34,900m→実績35,300m）しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 市民に親しまれる水際線づくりを進めるため、環境に配慮した護岸整備を着実に実施しており「順調」と判断。 【課題】 治水面と環境面のバランスを取る必要がある。	今後も限られた敷地の中で、最大限生態系に配慮した整備を行う。		
実績	—	—	—	—	—	—	—	係長 0.50 人													
達成率	—	—	—	—	—	—	—	職員 2.00 人													

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					H27年度		H26年度		人件費（目安）			H27年度				H29年度予算要求に向けた施策の方向性
					指標名等	現状値（基準値）	H26年度	H27年度	中期目標	予算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	金額（千円）	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策評価	局施策評価の理由および課題		
VI-4-(1)-③ 市民と自然とのふれあいの推進	27	「花やみどり」による彩りと潤いのあるまちづくり	緑政課	都市景観の向上と潤いのある街づくりを目指し、花壇（公共花壇）の整備を行うと共に、市民花壇やスポンサー花壇、うえるっちゃ！花壇といった、市民ボランティアや企業・団体と一体となって美しく快適なまちづくりを推進する。さらに特別緑地保全地区制度や保存樹制度を活用し、都市に残された貴重な緑の保全に努めていく。	市民花壇活動団体数	574団体（H26年度）	目標 — 団体 583 団体 実績 574 団体 570 団体 達成率 — % 97.8 %	628団体（H32年度）	100,023	154,598	58,491	23,150	課長 0.10 人 係長 0.70 人 職員 2.00 人	順調	高齢化などの理由で解散する団体が増加し、市民花壇活動団体数は全体として減少した。特別緑地保全地区については、買収予定地の一部が交渉難航により契約が完了しなかったものの概ね目標を達成しており、加えてH26年度未買収地についても既に用地買収が完了している。そのため、評価は「順調」と判断。	順調	【評価理由】 市民と自然とのふれあいを進めるため、街角の花壇整備や農業体験教室を実施した。市民花壇活動団体数は減少したものの、市民ボランティア等との協働は着実に進んでいる。また、農業体験教室は目標を超える大勢の参加があった。評価は「順調」と判断。 【課題】 今後も継続した取組みが求められる。	今後も継続して、街角の花壇整備や農業体験教室など市民が自然とふれあう場や機会の提供に努める。			
	28	長野緑地を利用した農業体験教室	公園管理課	計画地内に複数の活動エリアを設け、一年を通してそれぞれのエリアで有機農業栽培管理や花作りを体験する市民参加による農地等の整備、管理等に取り組む。また、子どもたちが自然の中で遊び、学ぶ場を提供したり、収穫物を使用したイベントなど、市民の参加を拡大するイベント等を開催する。	農業体験教室への参加者数	—	目標 2,000 人 2,000 人 実績 2,447 人 2,328 人 達成率 122.4 % 116.4 %	2,000人（毎年度）	2,600	2,674	2,674	1,120	課長 0.03 人 係長 0.04 人 職員 0.05 人	順調	悪天候による中止もあったが、目標人数を達成することができたため「順調」と判断。						
VII-3-(2)-① 東九州地域との連携	29	【施策評価のみ】東九州自動車道建設促進協議会の要望活動	道路計画課	【施策の内容】東九州自動車道建設促進協議会の要望活動	【施策の指標】東九州自動車道の建設促進	—	目標 — — 実績 — — 達成率 — —	東九州自動車道の建設促進	—	—	—	—	課長 — 人 係長 — 人 職員 — 人	—	—	順調	東九州自動車道沿線の福岡・大分・宮崎・鹿児島県と協力、連携しながら、整備活動の要望に取り組んでいる。	今後も沿線自治体と協力して、要望活動に取り組む。			